

# 第1回 事業報告書

(平成24年1月4日から平成24年12月31日まで)

## I 事業活動

今年度は、一般社団法人移行の最初の事業年度に当たり、改めて二つの公益目的事業を活動の原点として推進いたしました。

ひとつは、講演会や交流会などを通じて地域活性化と産業振興を目的とする産業振興事業、もう一つは、重要文化財建物を通して建築文化や歴史を学ぶ場とするとともに、建物を活用した文化活動の場を提供することによる文化振興を目的とした文化財活用事業であります。

また、倶楽部創立60周年ならびに洋館竣工100年を記念する事業も、行政や文化団体等の協力を得て多数行いました。

さらに、これらの事業を財務面で支えるとともに、あわせて、その収益を、公益目的事業の推進拠点となる重要文化財建物の維持に充てるための食堂運営事業も積極的に行いました。

なお、今年度の直近期である第61期(平成24年1月1日から1月3日まで)は、事業活動を行っていないため、前期との比較は全て第60期(平成23年1月1日から12月31日まで)を前期として行っております。

### 1 産業振興事業

#### (1) 講演会

経営・経済・政治・文化・社会問題等につき、有識者を招いて講演会を開催し、延べ1,000名程の参加がありました。

今年度は、倶楽部創立60周年、洋館竣工100年の記念事業として、特別講演会も合わせて行いました。

また、行政関係・友好諸団体主催の講演会の共催ならびに後援を行い、参加者の幅広い交流の機会づくりを行いました。

平成24年の当倶楽部主催の講演会は、次のとおりです。

第1回 平成24年1月30日(月)

「2012年を展望する」

同志社大学法学部 学部長 村田 晃嗣氏

第2回 平成24年2月3日(金)

「アメリカのプロ野球経営に学ぶ企業統治とビジネス法」

アルバニー法科大学院 教授 ポール・フィンケルマン氏

第3回 平成24年4月17日(火)

「環境とアジアで飛躍する北九州市！」～次世代をつなぐ緑の成長戦略～

北九州市長 北橋 健治氏

第4回 平成24年5月25日(金)

「第2期プーチン政権の行方」～ 厄介な隣国、ロシアとのつき合い方 ～

元 読売新聞西部本社 社長 小島 敦氏

第5回 平成24年6月18日(月)

「インドは変わった！？ーインドビジネスの留意点」

元インド 住友商事社長 Nakajima Consultancy Services 会長 中島 敬二氏

第6回 平成24年7月25日(水)

「遺伝子とがんの話」

産業医科大学 学長 河野 公俊氏

第7回 平成24年8月24日(金)

「今後の経済・金融展望」～ 世界経済の抱える課題と金融市場への影響～

野村証券(株) 投資調査部 シニア・エコノミスト 美和 卓氏

第8回 平成24年9月26日(水)

「世界を見る視覚システムの話」～ 大きさ・距離不変仮説～

北九州市立大学 学長 近藤 倫明氏

第9回 平成24年10月17日(水)

「旧松本邸の建築について」

建築史家 建築家 工学院大学教授 東京大学名誉教授 藤森 照信氏

第10回 平成24年11月14日(水)

「最近の経済情勢について」

経済産業省 九州経済産業局 局長 広実 郁郎氏

第11回 平成24年12月18日(火)

「内外経済の展望と北九州の課題」

日本銀行北九州支店 支店長 服部 守親氏

これらに加えて、倶楽部創立60周年、洋館竣工100年の記念講演会を、次のとおり行いました。

1月 「文化財工事（洋館外壁塗装）見学・講演会」

(公財)文化財建造物保存協会 澤田 拓氏

- 2月 「黒木国昭展」記念講演会  
日本ガラス工芸協会正会員 JAPAN GLASS ART SOCIETY 理事 黒木 国昭氏
- 2月 「世界の庭と日本の庭」  
NPO ホーピングガーデン北九州理事長 (株)ネブルグリーン代表取締役 平井 征喜氏
- 6月 「陶芸の道」  
重要無形文化財保持者 人間国宝 井上 萬二氏
- 12月 「日本近代建築の先駆者・辰野金吾と北九州」  
九州国際大学経済学部 教授 清水 憲一氏
- 12月 「夢二を語る」  
竹久夢二美術館 名誉館長 竹久 みなみ (夢二の孫) 氏
- その他の共催・後援事業は次のとおりです。
- 2月 「2012年中国はどこへ向かうのか」  
筑波大学名誉教授 東京福祉大学 国際交流センター長 遠藤 誉氏
- 2月 日中韓シンポジウム・アジア講座  
「低炭素化社会への岐路～福島原発事故をめぐって～」  
NHK 北九州放送局長 関口 博之氏他
- 3月 「円高と九州経済～強まる生産の拠点性」  
九州経済調査協会情報研究部 次長 加峯 隆義氏
- 6月 「スターフライヤーの企業戦略」  
(株)スターフライヤー 執行役員経営企画部長 鈴木 紀男氏
- 7月 「九州工業大学の人工衛星開発について」  
九州工業大学大学院 教授 趙 孟佑氏
- 7月 「北朝鮮の新体制をめぐる政治経済動向」  
(公財) 環日本海経済研究所 調査研究部長 三村 光弘氏
- 9月 「プーチン2.0下のロシア情勢と日露関係」  
北海道大学 名誉教授 木村 汎氏
- 9月 「変わるシンガポール、変わらないシンガポール」  
北九州市立大学大学院 社会システム研究科 教授 田村 慶子氏
- 10月 「中国の経済発展における帰国留学生の役割  
～日本留学組と欧米留学組の比較～」  
(公財) 国際東アジア研究センター 主席研究員 戴 二彪氏
- 11月 「インドネシアとタイの将来展望」～中進国における政治と経済の相克～  
(株)国際協力銀行 西沢 利郎氏

## (2) 交流会

### ① シンポジウムの会

参加者相互の交流をより深めることを目的とする、美食会を兼ねた“シンポジウム”の会を3月、7月、11月の計3回開催しました。今年も、「世界の車窓からシリーズ」と銘うって、北欧・ロシア、ヨーロッパ南東部、南アメリカそれぞれの地域の食材を使った料理を楽しむとともに、映像等による倶楽部の活動紹介も行いました。

### ② 特別講演会ならびに交流会

毎年の恒例行事として、次のとおり開催し、九州経済産業局長、福岡県知事、北九州市長ほか多数の参加があり情報交換、懇親の場として活用いただきました。

1月5日 新年賀詞交歓会

4月17日 北九州市長特別講演会ならびに春季懇親会

10月17日の創立記念日には、創立60周年記念行事として、記念式典の後、藤森照信氏の記念講演会ならびに懇親会を開催いたしました。

### ③ 行政・経済団体等との交流

行政（九州経済産業局、福岡財務支局、北九州市各部局・教育委員会など）、友好諸団体（北九州商工会議所、(公財)北九州国際技術協力協会、(公財)北九州活性化協議会、(公社)北九州貿易協会、(公財)国際東アジア研究センター、(公財)北九州国際交流協会、福岡経済同友会、福岡ユネスコ協会、福岡アメリカンセンターなど）と協力して、各種のシンポジウム・講演会・懇談会・文化活動などに積極的に協力し地域の発展と国際友好親善に努めました。

## 2 文化財活用事業

明治45(1912)年に洋館が竣工し、昭和47(1972)年に重要文化財に指定された「旧松本家住宅」は、その建物の維持管理の観点から、特別公開日を除き自由な見学は不可としております。今年度の特別公開日は、4月15日(日)・16日(月)および11月2日(金)・3日(土)の4日間開催し、あわせて3,000名近くの入場者がありました。

また、「安川・松本家と戸畑の百年」記念事業として、12月2日(日)に行った夜の特別公開では、600名を超える入場者が紅葉とクリスマスイルミネーションを楽しまれました。

その他、初めての催しとして、五人囃子、オペラの会などの記念コンサートなども多数開催いたしました。

なお、会員や行政からの紹介、建築専門家、さらには教育上の観点からの学校等の見学は事前の予約を受けて対応しています。

また、婚礼や食事等での会館利用者に対しては、積極的に建物の意義等を知っていただくための館内案内を行っており、単なる行事参加とは違って、重要文化財に直接触れることで、文化財の意義・価値を認識するとともに文化財保護意識を高める機会となっています。

このほか行政や友好諸団体との交流を始め、文化団体との交流では、音楽・茶道・華道・書画等の演奏会・作品発表会などに、会場の提供を行い、文化向上に努めました。特に、特別公開に合わせた、コンサートや各種文化団体の作品発表会は、出展者並びに参観者に大変好評を博しました。

### 3 食堂運営事業

今年度は、一般会食は、国内外の政治情勢の混乱や引き続き経済活動の低迷などから、厳しい見通しとなりましたが、日本館の積極的な活用や創立60周年などの記念に合わせた数々の行事企画により、減少を最小限に止めることができました。

一方、婚礼事業は、洋館外装塗装工事竣工に伴い、重要文化財としての建物の魅力が再認識されたことや、記念事業に合わせた営業活動の成果も現れ、婚礼件数が大幅に増えました。この結果、当事業の売上高は210,373千円(前年比39,455千円増)となりましたが、利益面では、黒字に転換したものの、単価の低下や将来の拡販につなぐための活動に伴う費用、記念事業に伴う費用増もあり、経常利益は943千円(前年比14,640千円増)に止まりました。

なお、これらに、産業振興事業、文化財活用事業及び法人会計の収支を加えた、全体の収支は、収入268,882千円(前年比61,642千円増)、支出273,072千円(前年比52,120千円増)となり、差引き4,189千円(前年は13,711千円の経常損失)の経常損失となりましたが、支出には洋館外装塗装工事の所有者負担費用や記念事業に伴う出費が含まれていることを勘案すると、収支内容は大幅に改善されました。

## II 会務の概況

### 1 定時社員総会

平成24年2月24日12時15分より当倶楽部で第61回定時社員総会を開催しました。

報告事項 第61期(平成24年1月1日から1月3日まで)事業報告の件

決議事項

第1号議案 第61期(平成24年1月1日から1月3日まで)貸借対照表および正味財産増減計算書ならびに財産目録承認の件

本件は、原案どおり承認可決されました。

第2号議案 理事21名選任の件

本件は、原案どおり承認可決されました。

第3号議案 監事2名選任の件

本件は、原案どおり承認可決されました。

## 2 理事会・委員会

平成24年度中に開催された理事会・委員会は次のとおりです。

理事会	4回	監事会	1回		
役員懇談会	4回	今年度より、理事会以外に2ヶ月ごとに経営状況報告のための役員懇談会を設けました。			
経済調査委員会	4回	財務委員会	1回	総務委員会	4回
交流委員会	1回				

## 3 会員の異動状況

会員種別	前年度末 現在会員数	本年度 入会者数	本年度 退会者数	本年度末 現在会員数	増減数
法人会員 (指名会員)	179社 (242人)	4社 (5人)	2社 (4人)	181社 (243人)	+2社 (+1人)
個人会員	8人	1人	0人	9人	+1人
客員	8人	0人	0人	8人	0人

## 4 役員の状況(平成25年2月26日現在)

理事長(代表理事)	利島康司
副理事長	谷本進治
	同 濱本康男
	同 木瀬照雄
常任理事	赤木博
理事	高橋正幸
	同 影山英雄
	同 岡野正敏
	同 古野英樹
	同 戸上勝喜
	同 平島孝三郎

監 事

同	北	川	恭	一
同	自	見	榮	祐
同	中	島	英	雅
同	二	橋	岩	雄
同	前	川	義	広
同	児	玉	幸	信
同	芳	賀	晟	壽
同	福	田	信	夫
同	椀	田		剛
同	山	本	雄	造
	松	永	伸	一
同	白	川	祐	治
同	三	島	正	一
同	南	本	久	精

以 上